

## ①-1 木造等循環型社会形成の分野に係る提案

### ■提案概要

No. 1-01

提案名	森の循環と共に「暮らし継がれる家」	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	三井ホーム株式会社	種別	システム提案
構造	木造住宅（枠組壁工法）	建て方	一戸建ての住宅

### ■提案の基本的考え方

ツーバイフォー住宅は、19世紀に北米で生まれ進化してきた工法である。日本を含め、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド等でもその性能は高く評価され、現在では住宅のグローバルスタンダードとなっており、100年を超える長寿の住宅も数多く現存している。

主な基本構造構成部材は2×4材をはじめとする6種類の規格材であり、あらかじめ規格寸法化されているため、超長期に亘って同一品質の構造材料を供給することができる。更に、告示で仕様規定等も明確であり、均質な性能を持つ住宅を超長期に亘って建設することが可能である。

このように、確かな品質の住宅が安定的に供給できるため、容易に維持管理も行うことができ、超長期にわたり循環利用できる良質な住宅ストックを供給できると考えている。

### ■提案内容

本提案では、高耐久、維持管理を強化した「GoodStock」の提案やメンテナンスコストの低減により維持管理を強化した「LM-120 システム」の提案に加え、「森の循環と共に暮らし継がれる家」を実現するため次のような提案を行った。

#### ◆地域産材の全国展開

枠組壁工法住宅にて使用する枠組材の多くはJASの枠組壁工法構造用製材であり、100%輸入に依存しているなかで、平成21年度2回目の採択では地方4エリア（北海道/長野/四国（香川・愛媛）/鹿児島）において、地域産材を利用する取り組みを行ってきた。

本提案では地域産材の活用を地方4エリアだけではなく全国へ展開するために、1階床組及び合板の地域産材利用を行う。1階床組である土台・床根太にはヒノキ、スギ等を、壁・床合板にはカラマツ・ヒノキ・スギ等を利用し、地域産材の活用を推進する。



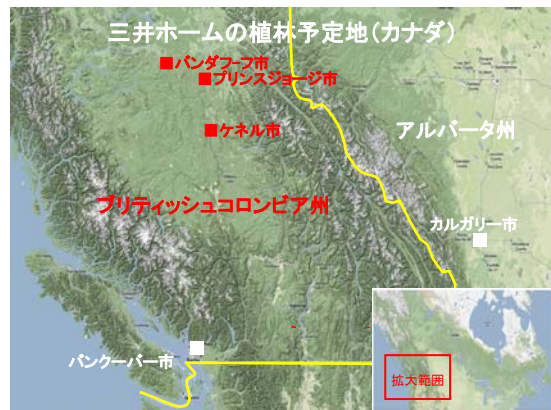
地域産材の活用を地方から全国へ展開することで森の循環を推進させ、地域林業、木材市場の活性化を図る。

## ◆植林



三井ホーム・林産業者2者の共同により、本事業に使用した樹木分の本数を植林・育成する。国内の植林地は北海道美瑛町の予定である。また、国外はカナダ林産業審議会（COFI）の協力のもと、カナダBC州に植林を行う予定である。

植林した樹木は手入れ・間伐等、定期的かつ適正な管理をすることにより、植林から建築までが循環する「森の循環（CO<sub>2</sub>固定化・削減）」を推進する。



## ◆暮らし継がれる家

愛着を持ち、手入れをしながら永く住み継がれる家、それはまさに「森が育つ」ように「家も育つ」ということであると考え、三井ホームではオーナーと一緒に定期的なセミナーや現地ツアーを通じて循環型社会の一員としての意識づけを行うこととした。

尚、オーナーには建物の定期点検連絡とともに植林した樹木の成長報告を行う予定である。

## ■提案者からのコメント

本提案では、地域産材の活用を全国展開で行い、森の循環を促し植林活動の推進とその樹木を適正に管理し、持続可能な森からの木材利用を推進することで、植林から建築までが循環する「森の循環（CO<sub>2</sub>固定化・削減）」を行う。また、住宅の品質や性能向上などの技術面の発展だけではなく、お客様が住まいに対して愛着を持ち、「いつまでも大切にしたい家である」と深く思うことが重要であり、その愛着心が育まれてはじめて世代に「暮らし継がれる家」が実現できると考えている。今後、お客様に対して現場見学会や定期的なセミナー等を開催し、植林活動のような森の育みのスタート地点から家づくりに関わっていくことで循環型社会の一員であることの意識を高めていきたい。